

平成26年 2月12日  
生徒指導支援室

## 第15回 「小・中・高校生の未来を考える集会」開催報告

- 1 日 時 平成26年 2月 1日(土) 13:00~16:00
- 2 会 場 奈良県立教育研究所(2階 大講座室)
- 3 主 催 奈良県児童生徒の規範意識向上推進連絡会
- 4 共 催 奈良県 奈良県教育委員会 奈良県警察
- 5 参加者 県内小・中・高等学校及び特別支援学校教職員、保護者、関係機関の関係者等 約280名
- 6 日 程  
13:00 ~13:40 開会行事、表彰式  
13:40 ~14:00 実践報告  
14:10 ~14:35 サポートセンターによる寸劇  
14:35 ~15:55 講 演

### ○ 標語及びポスター入賞者の表彰式

本集会の一環として、「いのちを輝かそう ~正しいこと、大切なことを 考えよう~」というテーマで、ポスター及び標語を県内の小・中・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒から募集し、入選者について、本集会の中で表彰が行われた。

最優秀に選ばれた、橿原市立白樺北小学校5年 河原成香(かわはら なるか)さんの作品(標語)と奈良市立京西中学校3年 青木綾香(あおき あやか)さんの作品(ポスター)を組み合わせ、ポスターを作成、今後、県内の小・中・高等学校や関係機関等に掲示する。



〈完成したポスター〉



〈入賞者の皆さん〉

○ 実践報告「あいさつは、コミュニケーションの入り口」  
(宇陀市立室生東小学校)

同校が、あいさつ運動を始めたきっかけは、子どもたちの学力向上には、コミュニケーション力を高めることが必要であるということからであった。活動当初は先生方も子どもたちにあいさつをさせることが目的のようであったが、校門や通学路で、子どもたちが学校へ登校してくる姿を迎えるうちに、次第に「今日も元気に登校してくれたね」という気持ちになり、この気持ちを子どもたちに伝えようと大きな声であいさつを投げかけると、子どもたちからも、させられたあいさつでなく自然なあいさつが返ってくるようになった。“おはよう”というあいさつに続く、「昨日は…」、「今日は…」という子どもたちとの会話によりコミュニケーションが一層深まって行った。

また、同校では子どもの自主的な活動として、「トイレのスリッパをそろえよう運動」や「廊下は右側を歩きましょう運動」を展開し、子どもたちが互いに気持ちよく過ごせる学校作りを目指しているという報告がなされた。



〈小関先生による実践報告〉

○ 県警少年サポートセンターによる寸劇及「立ち直り支援活動の」紹介



「非行少年を生まない社会作り」というテーマでの寸劇及び、非行少年の立ち直り支援活動についての取組の報告があり、非行少年を生まないためにはどのような社会作りが必要か、また、子どもたちが求めている心の拠り所とはいったい何であるのかということを考える機会となった。

〈サポートセンター職員による白熱した演技！！〉

○ 講演「児童生徒の主体性を引き出すコーチング」

(講師：株式会社コーチング・システムズ 稲垣 友仁 氏)



〈稲垣氏による講演〉

稲垣氏自らの経験を踏まえ、コーチングの基本理念や、いかにして子どもたちの主体性を引き出すのかといった点について、ポイントをわかりやすく整理しながら説明が行われた。



〈会場の様子〉